

## 次期総合計画南湖地区懇談会概要

日 時 平成21年8月29日(土)14時~15時30分

場 所 南湖公民館

参加人数 50人

天 気 晴れ

事務局参加者 市長、木村企画部長、矢島財政課長、高橋企画調整課長、小池課長補佐、弓削副主査、鈴木副主査

\* (市民) 将来都市像について「海と太陽と緑の中で・・・」とあるが、もう一つ「水」を加えて欲しい。相模川は1級河川なので国が管理していると思います。茅ヶ崎には3カ所くらい川があると思います。その川を子どもたちがフナやどじょうを取れるような、地域として川を利用できるようにしていただきたい。川の「水」を身近なものとして感じられるように将来都市像に取り入れてもらえないか。

(事務局) 将来の都市像の「海と太陽と緑の中で・・・」というのは茅ヶ崎の恵まれた自然を表しております。この「緑の中で」は自然ということで、例えば北部丘陵の里山や海岸の砂、河川の自然を「緑」の中で表現させていただいていると考えております。

\* (市民) 歳入歳出の推計について、資料の14ページの表の中で歳出が24年度と比較して25年度が落ちているが、理由を説明してもらいたい。

(事務局) 歳出には公共施設再編整備計画の事業が盛り込まれております。只今計画の見直しをしておりますが、昨年3月に計画したときの数字を入れておりますので、その年度によって上下をします。特に前の方の年度にある程度の事業が固まってきておりますので、歳出の上下が出る状況です。

\* (市民) 若干足りない部分がでてくるということですか。このままの経済状況で行くと歳出が歳入を上回ってしまうという状況が生じるということですね。

(事務局) そのとおりです。税については、固定資産税等は3年に1回の見直しがありますので、見直しの年は落ちまして、そこから上がり、3年に落ちるという状況です。歳入についても波があります。

\* (市民) 資料10ページの政策連携課題で「相乗効果による課題解決」と「幅広い投資効果」とあるが具体的にどういうことをイメージしているのか。

(事務局) 政策連携課題にある5つの目標、現在の課題にあらゆる面で幅広く対応するという設定しております。どの施策を展開するにあたりまして、こちらの事項に効果ができるようなことも盛り込んでいけるかどうかを検討し、盛り込めるのであれば、盛り込んでいくということを考えております。そうすることにより、それぞれの施策がお互いに連携し合いながら進めることで相乗効果が生まれるであろうと、またそうすることで、そこに投資した資源についても有効に使われていくことが考えられます。

そのようなことを考えながら、これからの10年間は業務展開をしていきたいということで今までの総合計画になかったような形で打ち出しをしているものです。

\* (市民) 海岸の美化キャンペーンに参加しても、漁港の後背地はいつも同じ状況になっているが、何か整備する予定があるのか。

(企画部長) 当該地区はフィッシュセンターが解体され、その後にマンションができるという動きの中で、皆様のご意見をいただき、茅ヶ崎海岸グランドプランをつくっております。現在船宿がありますところがA地区、結婚式場のところがB地区、海水浴場がC地区という3つのゾーン分けをするなかで、茅ヶ崎海岸グランドプランをつくっております。

ご指摘の場所はA地区で堤防に向かう西側に駐車場がありますが、その駐車場は将来的には取り除いて砂浜に復元していきたいと考えております。その駐車場については、荷さばき場の後ろ側に整備していきたいと考えております。なるべく、この地区については建物を建てない方向で、片方の駐車場については自然に戻し、荷さばき場の後ろについては、現在漁業関係者も使用しておりますし、一般の観光客も使えるような駐車場として整備していきたいということで話しを進めております。

\* (市民) 政策の中に高さ制限という項目が具体的に入っていない。工場跡地の取り決めをしておかないと同じ高さの建物ができてしまうのではないかと懸念します。規制をしっかりしていただきたい。高さ制限の項目を設けてほしいと思います。

(企画部長) A3の資料の政策目標〔10〕の施策目標36「地域特性を活かした都市空間をつくる」という施策目標の中で該当する事案だと思います。12月議会で基本構想を議決いただく予定ですが、議決いただいた後には具体的な事業をしていくための実施計画をつくり、その中でご提案いただいたようなことが具体的に載っていくと思います。それを先行する形で、現在作業が進んでいるところです。

\* (市民) 浜見平団地の建て替えについて、工事の音がうるさく、埃、振動もひどい。事前の説明の際には、重機等の説明もこのような騒音についても説明がなかった。まちづくりをする際には、市民にきちんと説明をして欲しい。

(企画部長) 浜見平の問題だけでなく、様々な施策を行うにあたり、市民の皆さまに十分な説明をするということは、心がけなくてはいけないと思います。今までのように行政用語を使って、専門的な用語で理解できないような説明ではなく、皆さまにわかっていただける用語を使い、市民の皆さまの目線に立った説明をしたいと思っておりますし、ご要望があれば、出掛けていって説明をするということは積極的に行っていきたいと思っておりますのでご理解をいただきますようお願いいたします。

\* (市民) 少子化の問題について、茅ヶ崎市の南東、緑が浜方面は人口が増えている。また、北西、香川地区の方も子どもが増えている。そういうところに対して学校を建てなくてはいけない等様々な問題がでてくると思います。それに対して少子化が進んで教室が余っているところ、鶴が台、西浜がある。学校を増やすのではなく、学区の見直しの考えはないのか。

(市長) 学区を変えることで学校の教育環境を平準化していこうということは教育委員

会の中でも大きな課題として議論されてきております。ご指摘のありました2つのエリア、例えば、市の南東部の汐見台等を中心にかなり人口が増えているところで、学区再編によって、教育環境が平準化できないかと時間をかけて検証し、議論をしましたが西浜の学区まで全てを変えていかない限り、南側の話しは収まらないだろうと。北側では香川小学校がマンモス校となっておりますが、ここも鶴が台小学校との中で学区再編が出来ないかということで、地域の方と議論した経緯がありますが、総論としては理解していただけても、各論になるとそれは困るという話になっていたというのが実態です。その事をそれでよしとしてはいけないと思いますが、これから先、住民の皆さまに市が抱えている問題の多さ、それを解決していくためには、コストをかけずに皆さまの知恵と力によって解決策を見つけていくということを念頭に置かなくてはならないんだということをお伝えしながらこのような問題にあたっていかなくてはいけないと思っております。南側の汐見台地区については新設の学校を建てるという方法で問題解決をしようと思っておりますが、北側の香川小学校の巨大化については、改めてそのような視点で、住民の方々と議論しながら良い解決方法を見いだしていくということで教育委員会も再度の取り組みをしよう準備をしているところです。

\* (市民) 資料の10ページに、「収入の増収策」というのがあるが、受益者負担の考え方が盛り込まれてくるのか。

これだけ住みよい市の項目を掲げているのなら、市民にもっと協力していただくという意味で、11ページの「臨時財政対策債を見込む」とは市債だと思うが、市民から財源を集めるというような市民債のようなことも積極的に考える必要があるのでは。

(市長) 将来に向けて財政見通しをたてておりますがかなり厳しさがあります。そのような中で行政内部で、行政改革を進めて様々な事業にあてられる費用を捻出していくということは、更に重点化しながら対応しなくてはいけないと思っております。それに合わせてご指摘のあったようなことも考えていかなくてはいけないと思っております。例えば使用料や手数料は長年にわたって、抜本的な見直しをすることをしないまま今日まで経過しています。会議を行う部屋の使用料がかかっているコストと比べて適性なのかといった見直しもさせていただいております。実際に内部的にはそれらについて、一定の数値の整理作業を進めております。それらをどこまで受益を受けた方に負担をしていただくのかその範囲について、様々な角度から内部的な議論をしております。内部の整理が整った段階で、市民の皆さまに、受益を受けている方にそれなりの負担をしていただく形を取っていききたいというご説明をしてご納得をいただいた上で、必要な条例改正等をして対応していくことになると思っております。このような事はしっかりと全体像を市民の皆様にご理解をいただいた上で皆さまにご意見をいただくという作業をしなくてはならないと考えております。概ね来年度、再来年度にいろいろな議論が進められるように準備をしていきたいと思っております。

2つ目につきまして、市の借金であります市債、これは後年度の皆さまも受益を受ける部分については市債という形で借金をさせていただき、それを後年度の方々に納めていただく税金で返済をしていくという取り組みは大事な部分であります。しかしながら過大に借金を増やしていくということについては問題があると思っております。将来にわたっ

て人口が増えていく、税収が増えていくということが予見されていれば、このような事も一つの考え方として持っていていいと思いますが、これから税収の伸びが止まって減少していく、人口も減少していくという状況が国全体の中でもまた茅ヶ崎市においても予測されている中では、過度の市債の残高を残していかないというのが、一つの財政上の規律を保っていく上で大事な視点であると思っています。幸いなことに、平成15年以降市債の残高は全体で見ても減らす方向で進んできております。しかし、これから、学校以外のその他の公共施設の安全性を高めていくという取り組みも3分の1程度しか終わっておらず、それらに多額な費用が掛かるのも1面であります。その際には適度な範囲の中で借金をしていくというのは考えざるを得ないと思っております。

もう一つ、他の都市で行われておりますが、市民の皆さまに市民債という形で、市債を買っていただくということについても、これからの財政運営上の中では考慮しなければいけない一つの取り組みだと思っております。いずれにしても、これから将来に向けて過度の財政負担を残さないという考えに立って、総合計画も細部についての策定を行っていききたいと思います。

\* (市民) 0歳から3歳位の子ども達が保育園に入りたいという申し込みが多数あり、待機していると聞いております。その中で申請を出すときに、夫婦共働きでなくては申請ができないという市条例は厳しいのではないかと。これから働きに出るといふ夫婦についても受付けられないか。

(事務局) 市では400人を超える待機児童がいる状況です。待機児童解消のために次世代育成支援対策行動計画を平成17年に策定しており、5年計画で、当初300人の待機児童がおりまして、計画期間中17年から22年の間に解消していきこうと300人の定員増という計画を立てました。新たに民間に保育園を建てていただいたり、建て替え時に定員増を図る、施設を整備し定員増を図る等取り組みをして300人という数字をクリアしました。しかし、また新たに400人を超える待機児童がおります。茅ヶ崎の場合定員増を図っても、需要を喚起してしまう。また経済状況が悪化している状況で夫婦で働かないと経済的に厳しい家庭もあり、待機児童解消は難しくなっている。

茅ヶ崎市は県下でも待機児童が多く、この解消はA3資料の体系図では、政策目標〔1〕の施策目標02「ニーズに合った多様な保育を行う」ということで次期の総合計画では雇用の対策も合わせてしていかななくてはならないということで、様々な雇用に対応できる、例えば保育も特定保育という特別な保育があります。働く環境が週3日という方に対しては特定保育という制度を利用していただくのも一つの方法と考えております。

平成23年に向けて、新たな保育園の建設ということで、今まで民間の事業者、社会福祉法人にお願いしていた部分がありますが、市としても待機児童解消のためには、市の方でも積極的に動く必要があるということで公設民営の保育園を平成23年度に向けて計画をしているところです。しかしながら、定員が120人を予定しており、400人に対応するには到底及ばないということで、民間の方でも保育園を建設していただけるという動きがあれば、積極的に市の方でも補助金を出して対応していくことで、合わせて次期の総合計画の期間では検討してまいります。

入所基準につきましては、保育に欠けるというのは日中どなたも面倒を見る方がいらっしやらないという状況の場合に保育に欠けるということです。週の労働時間等入所基準が決まっておりますので、単に子どもを保育園に預けたいという状況では、待機児童がこれだけいる中では対応は難しいのではないかと思います。

保育の入所基準は、現在点数制になっており、両親が働いている、病気である等様々な基準があり、その点数により上から順次入所していただいている状況です。

- \* (市民) 市の入所基準が1本のラインが入っていることに対して、子供がいては働きに出ることができない家庭を調査する、市から委託されている民生児童委員に、家庭を見ていただいて、その中で申請を受け付けることはできないのか。1本のラインを超えるような制度を検討していただきたい。

(事務局) 保育の基準は、市が独自で決めているものではなく、全国共通の基準に基づいて、茅ヶ崎市が運用しておりますので、そこはご理解いただきたいと思います。

(市長) 基準自体は市が勝手に決めているわけではないという部分もご理解いただきたいと思います。そういう中で現在の日本の社会情勢、保育制度が始まった時に比べて経済情勢や、仕事観が大きく変わってきていると思いますが、一律に変わってきていないのは国の考え方であるという部分があります。おそらくそのような議論が、国においても現実的な状況に合わせて制度を変えていくということが進んでいくと思いますので、私たちも地域に暮らされている方の状況を市長会等を通じて働きかけをしてまいりたいと思っております。

- \* (市民) 徳洲会病院の移転について詳しく説明してほしい。

(市長) 新しい次期の総合計画においても、住民の皆さまの命を守っていく、また健康を維持していくという意味で、医療のサービスを公共だけでなく民間の医療機関も含めて一体感を持って対応していくことが大事であると捉えています。民間機関と連携していくということの一つに徳洲会病院の話もあると思います。辻堂の湘南C-Xに、徳洲会病院が大規模な新しい総合病院を建てられる計画を発表されております。それにあたっては、茅ヶ崎にある病床の一部を持って開設に当てたいというご提案もされております。そのような中で茅ヶ崎市の救急医療をとっても徳洲会病院は約45～46%の救急車の搬入を受けていただいています。市立病院と徳洲会病院でそのようなことを支えている現状があります。その実態を今後も継続していただきたいという願いは徳洲会の理事長にも直接お話しして、理事長からその技能を落とすつもりはないと、茅ヶ崎の中で民間病院として開設させていただいて、住民の方との関係もできてきたので、今後も維持していくということは明確に言っていただいております。病院の規模自体は変わることはあり得ると思いますが、救急医療や小児医療、一般診療の機能をしっかり残していただけるということは、約束していただいておりますので、今後も具体の取り組みとして進めていただけるように、行政からも投げかけはしていきたいと思っております。

- \* (市民) 現在の徳洲会病院は、建物も古く、汚くなっており、このままの状態では残すというのいかなるものか。耳鼻科など小さい病院もなくなっていくような現状ですので、フォローもしっかりしてもらいたい。

(市長) 機会があれば先方にもお伝えしたいと思っております。一方で市では、皆さまからの

税金を一部投入させていただいて市立病院の運営をしております。ここについては、医師不足で民間ではやりにくくなっている診療科目についても、対応させていただくことを基本においていかなければいけないと思っております。

\* (市民) 企業を誘致するにあたって茅ヶ崎の恵まれた自然を活かして太陽を利用した温水、風車による新しい考え方等で、これから10年から15年の間で、茅ヶ崎の自然、太陽・海・緑を利用した前向きな話しを考えていただきたい。

(市長) まちの活力、財政的な部分も含めて、住民の方々の働く場を確保するということからしても、今存続している市内の企業には、今後も存続していただくような環境を行政としてお手伝いをしていかなければいけないと思っております。できれば新たな企業にも入ってきていただく中で、皆さんの雇用の確保をしていきたいとの考えを持っております。

新しい総合計画の期間中に実現できると思いますが、さがみ縦貫道路の建設が進められております。平成24年度に茅ヶ崎まで開通する予定ですが、寒川の南インターチェンジ周辺に、寒川町と、茅ヶ崎市のエリアを合わせて、今後の企業活動ができるような土地利用ができる、そういった区分けにしていこうということで、現在都市計画の見直しの変更作業を住民の方と議論をしているところです。これが進めば、そのエリアは商業・工業系の利活用ができる都市として生まれ変わってくると思います。

湘南地域全体を見ますと、藤沢・寒川・茅ヶ崎のエリアには、大学をはじめとした学術研究機関が集中しているエリアです。これは日本の国内でもトップクラスで集中しているエリアです。こうした環境を活かしていく、大学と企業の研究機関がさらに充実していけるような取り組み、これは茅ヶ崎市単独では為し得ない部分もありますので、これから藤沢市、寒川町と連携をしながら、新しい産業を誘致をしていく働きかけ、取り組みを新しい総合計画の期間内に実現をしていきたいと思っております。

\* (市民) 今の時代、人口減少と低成長は免れることはなく、その中で安定した、成熟社会としたまちづくりを考えざるを得ないと思います。「海と太陽と緑の中で」に「このまちに生まれてよかった」「このまちで長生きしてよかった」ということがテーマの総合計画にして欲しいと思っております。

保育所の入所基準は国のレベルだけではなく、市の独自の裁量でできないのか。例えば、3人の子どもを持つと、経済的に働かざるを得ない状況になるが、3人目の入所は最後の順番に回されるというのが現実です。これは入所希望者のニーズにあった政策をしていないということです。市独自の裁量を持った工夫をして欲しい。ぜひ、多様な保育基準を考えて欲しいと思います。

(市長) 保育所の入所基準は先程の説明の通り、判定基準を点数化して行っておりますが、実際にどのような状況になっているのか改めて検証したいと思っております。ご指摘の点は大事な視点であることは間違いないと思っております。どこまで優先順位を決める点数化のところで対処ができるのか研究課題としてお預かりをさせていただきたいと思っております。